

## 第 49 回 CDM 理事会傍聴出席報告（速報版）

2009 年 9 月 15 日

社団法人海外環境協力センター

## I. 理事会概要

1. 日時： 2009 年 9 月 8 日（火）～9 月 11 日（金）  
（公開討議は 9 月 9 日～11 日に開催）
2. 場所： UNFCCC 事務局（ドイツ・ボン）
3. 議題：
  1. 理事会メンバーについて
  2. 議題の採択
  3. ワークプラン
    - a) 運営組織の信任手続
    - b) ベースライン・モニタリング計画の方法論
    - c) 植林・再植林プロジェクトに関する事項
    - d) 小規模 CDM プロジェクトに関する事項
    - e) プログラム活動に関する事項
    - f) CDM プロジェクト活動の登録に関する事項
    - g) CER 発行及び CDM 登録簿（レジストリ）に関する事項
  4. CDM 管理計画及び予算に関する事項
  5. その他（(a) CMP からの要請事項、(b) 透明性に関する事項、(c) 利害関係者・各国・NGO との関係、(d) その他）
  6. 閉会



## 【運営組織の信任手続】

&lt;運営組織（OE）認定&gt;

・資格停止：有効化審査、検証・認証

- SGS United Kingdom Ltd (Er-0010)（資格停止期間中、下記手続事項の実施禁止）<sup>1</sup>
  - ✓ 有効化審査プロセスにおけるパブリックコメント受付のための PDD の公開手続
  - ✓ 有効化審査プロセスにおけるモニタリング報告書の公開手続
  - ✓ 新規のプロジェクト登録要請の提出
  - ✓ 新規の CER 発行要請の提出
  - ✓ 新規のクレジット期間更新要請の提出
  - ✓ 新規のモニタリング計画の変更要請の提出
  - ✓ 新規の逸脱要請の提出
  - ✓ 新規の PDD 変更要請の提出

（SGS は今後 6 カ月以内に不適合（non-conformities）に対する是正措置を講じ、信任チーム（CDM-AT）による立会審査を受けなければならない。）

・再認定：有効化審査、検証・認証

- JACO CDM Ltd（スコープ 1～15、認定期間：3 年間（～2012 年））

<sup>1</sup> 既にプロジェクト登録要請、もしくは CER 発行要請を行っている案件については、手続の実施を認める。

#### <ガイダンス事項>

- DOE のパフォーマンスの組織的なモニター及び不遵守を是正させるための政策枠組 (the policy framework to monitor performance and address non-compliance by DOEs in a systematic manner) を承認。また、この政策枠組を実施するための取り組みについて、事務局での検討を要請し、事務局案を EB51 (12月) にて検討予定。
- CDM-VVM 改訂 (第2版作成) へ向けた作業計画について事務局より報告。作業スケジュール及び作業の進め方 (EB 決定との整合性や文言修正等の6ヵ月毎の見直し、2年毎の包括的な見直し) について合意。VVM の見直しについては EB51 (12月) にて再度検討予定。
- 時間的制約から重要性 (materiality) 及び保証水準 (level of assurance) の概念に関する議論は、次回 EB50 (10月) に延期。
- 認定パネル (CDM-AP) の方法論専門家の退任に伴い、新規専門家募集受付を決定。(受付期間: 9月14日~10月13日)
- DOE に対するプロジェクト参加者による不服審査プロセス (appeal process) の設立に関する事務局案を次回 EB50 (10月) にて検討予定。

#### 【ベースライン・モニタリング計画の方法論】

##### <承認済み方法論の逸脱>

- ACM0006 からの逸脱要請1件 (現在有効化申請中) について、当該 DOE に回答するよう事務局に要請。

##### <ガイダンス事項>

- その種類で初めてのプロジェクト活動に関する障壁に関するガイダンス案について、EB メンバー有志の作業グループに対し、提案をまとめるよう要請。
- コンプラクティス分析適用ガイダンス案について、EB メンバー有志の作業グループに対し、提案をまとめるよう要請。
- 「承認済み方法論からの逸脱の理事会への要請手続 (Procedures for requests to the Executive Board for deviation from an approved methodology)」及びその様式「方法論からの逸脱要請提出様式 (Form for submission of requests for deviation from methodology (F-CDM-DEV-METH))」を承認。
- 事務局の方法論検討プロセス能力、検討が迅速に進まない理由、使用されない/使用頻度が低い方法論の分析等について事務局より報告がなされた。理事会は、事務局に分析の統合サマリーの作業計画への反映、新規方法論検討・修正要請・明確化要請の各種手続の修正を事務局に要請し、今後の理事会で検討を行うこととなった。
- 承認済み方法論の客観性、適用可能性、利用可能性の更なる改善を事務局に要請。
- 地層への炭素回収・貯留 (CCS) の CDM プロジェクトとしての実施可能性 (the implications of the possible inclusion of carbon capture and storage (CCS) in geological formations as CDM project activities) に関する外部専門家からの提言案について検討。現案では CCS の CDM 化によって引き起こされるであろう懸案事項等の重要事項には触れていないため、今後更なる実質的な作業・検討が必要であり、事務局に作業の実施を要請。次回 EB50 (10月) にて再度検討を行うこととなった。

#### 【植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項】

##### <ガイダンス事項>

- 森林減少防止活動の AR-CDM プロジェクトとしての実施可能性 (the implications of the possible inclusion of lands with forests in exhaustion as A/R CDM project activities) に関する専門家の評価報告書案について、次回 EB50 (10月) にて引き続き検討を行うこととなった。また、上記提言案を次

回第 25 回植林・再植林ワーキンググループ (AR WG25 (9 月 21 日～23 日)) にて優先的に検討を行うことを要請。

- ・ AR WG 議長の Miguez 代理理事より、2010 年にブラジルにて AR WG 会合 (1 回) を招致の意向が伝えられ、事務局は歓迎した。

### 【小規模 CDM プロジェクトに関する事項】

#### <ガイダンス事項>

- ・「小規模方法論でのプロジェクト技術のベースライン普及率の定義付け (defining the consideration of baseline penetration (BP) of project technology in small scale methodologies)」について、方法論のガイダンス事項で現在検討中のコモンプラクティス分析等と関連していることから、継続審議となった。
- ・「新規簡素化方法論の提出・検討手続 (procedures for submission and consideration of proposed new simplified methodologies)」及び「簡素化承認方法論の費用調整修正手続 (procedures for revision of simplified approved methodologies to adjust the fees)」の改訂を事務局に要請。

### 【プログラム活動に関する事項】

- ・プログラム CDM (PoA) の第 1 号登録案件<sup>2</sup>を理事会は歓迎。

### 【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】<sup>3</sup> (プロジェクトの詳細は別添をご参照ください)

- ・登録承認：3 件 (日本事業者参加案件なし)
- ・修正条件付登録承認：42 件 (日本事業者参加案件 7 件)
- ・レビュー実施決定：15 件 (日本事業者参加案件 2 件)
- ・登録不承認：6 件 (日本事業者参加案件 3 件)

#### <ガイダンス事項>

- ・「レビュー要請及びレビュー案件の検討ガイドライン (Guidelines for the consideration of request for review and review cases (version 01))」を承認。
- ・「CDM 検討前の証明・評価ガイドライン (Guidelines on demonstration and assessment of the prior consideration of the CDM (version 03))」の改訂承認。
- ・追加性評価のための手段としての料金表 (tariff) の適合性への懸案事項 (低い料金表を適用することによって、再生可能エネルギー案件への投資インセンティブの低下等) について留意。
- ・「プロジェクト参加者と理事会間の連絡手順手続 (Procedures for Modalities of Communication between Project Participants and the Executive Board)」及びその様式「F-CDM-MOC」の改訂案について、今後再度検討を行うこととなった。
- ・「CDM プロジェクトの有効化審査処理・報告手続 (Procedures for processing and reporting on validation of CDM project activities)」の改訂を事務局に要請し、次回 EB50 (10 月) にて検討を行うこととなった。

### 【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】<sup>4</sup> (プロジェクトの詳細は別添をご参照ください)

- ・発行承認：1 件 (日本事業者参加案件なし)
- ・修正条件付発行承認：10 件 (日本事業者参加案件 2 件)

<sup>2</sup> “CUIDEMOS Mexico (Campana De Uso Inteligente De Energia Mexuco) – Smart Use of Energy exico” (国連登録承認日：2009 年 7 月 31 日、ホスト国：メキシコ、投資国：英国)

<sup>3</sup> 2009 年 9 月 11 日現在、1809 件のプロジェクトが登録済。

<sup>4</sup> 2009 年 9 月 11 日現在、328,487,858 の CER が発行済。

- ・レビュー実施決定：3件（日本事業者参加案件1件）
- ・発行不承認：なし

#### ＜ガイダンス事項＞

- ・「発行要請前の逸脱要請手続（Procedures for requests for deviation prior to submitting request for issuance）」及び「モニタリング計画変更要請提出様式（Form to submit request for revision of monitoring plan）」の改訂承認。
- ・「CDM 手続規則パラグラフ 57 に関するモニタリング計画の変更手続（Procedures for revising monitoring plans in accordance with paragraph 57 of the Modalities and Procedures of the CDM (version 2))」及び「モニタリング計画変更要請提出様式（Form to submit request for revision of monitoring plan）」の改訂承認。
- ・「較正頻度要件遵守評価ガイドライン（Guidelines for assessing compliance with the calibration frequency requirements）」は EB51（12月）にて検討予定。

#### 【CDM 管理計画及び予算に関する事項】

- ・今年度の CDM 管理計画（CDM-MAP）の進捗状況について、事務局より報告。理事会は事務局に CDM-MAP で規定している作業の継続（特に事務局職員の採用）を指示し、EB51（12月）までに CDM-MAP の更新を要請した。

#### 【その他】

- ・CMP4 からの要請に基づき、より効率的な CDM 運営への改善について、事務局に CMP への提案草案作成を要請。次回 EB50（10月）にて検討を行うこととなった。
- ・「理事会の文書形式の定義及び事前分類（Definitions and preliminary classification of document types of the Board）」の改訂を承認。
- ・次回第 50 回 CDM 理事会（EB50）は、2009 年 10 月 13 日～16 日（公開討議：10 月 14 日～16 日）、タイ・バンコクにて開催予定。

## 4. 出席者

(網掛部は欠席メンバー)

出身地域枠		理事 (Member) 【10名】	代理理事 (Alternate Member) 【10名】
国連地域グループ (5地域)	アフリカ	Mr. Kamel Djemouai (アルジェリア/国土整備・環境・観光省 環境協力部 部長補佐)	Mr. Samuel Adeoye Adejuwon (ナイジェリア/環境省 環境評価局気候変動ユニット部長補佐)
	アジア	Mr. Shafqat Kakakhel (パキスタン/持続可能な発展政策研究所(SDPI) チーフアドバイザー)	Mr. Rajesh Kumar Sethi (インド/環境森林省 気候変動部部長、インド DNA 事務局)
	東欧	Mr. Victor Nicolae (モルドバ/生態天然資源省 国家水文気象局)	Ms. Diana Harutyunyan (アルメニア/自然保護省自治体暖房・温水供給局、アルメニア DNA 事務局)
	ラテンアメリカ・カリブ海	Mr. Hugh Sealy (バルバドス/環境省コンサルタント、持続可能な開発委員会 議長)	Mr. José Domingos Gonzalez Miguez (ブラジル/科学技術省 省庁間気候変動委員会 事務局長)
	西欧その他	Mr. Martin Hession (イギリス/エネルギー・気候変動省 国際気候変動・オゾンカーボン市場担当)	Mr. Thomas Bernheim (欧州共同体 (EC) /環境総局)
附属書 I 国 (Annex I)		Mr. Lex de Jonge (オランダ/住宅・国土計画・環境省)	Mr. Pedro Martins Barata (ポルトガル/環境・都市計画・地域開発省 気候変動委員会 上級アドバイザー)
		Mr. Peer Stiansen (ノルウェー/環境省 気候変動上級アドバイザー)	Mr. Akihiro Kuroki (黒木 昭弘 氏) (日本/(財)日本エネルギー経済研究所 理事 地球環境ユニット担当)
非附属書 I 国 (Non-Annex I)		Mr. Philip M. Gwage (ウガンダ/水・土地・環境省 気象局)	Mr. Xuedu Lu (呂 学都 氏) (中国/科学技術部 地球環境弁公室 理事)
		Mr. Paulo Manso (コスタリカ/環境・エネルギー省、コスタリカ DNA 事務局)	Mr. Hussein Badarin (ヨルダン/環境省 気候変動ユニット長)
小島嶼国連合 (AOSIS)		Mr. Clifford Mahlunq (ジャマイカ/地方政府・環境省 気象庁)	Mr. Noah Idechong (サモア/The Nature Conservancy 資源・開発議長)

オブザーバー参加者：3名

(文責：家本 了誌)

## 別添：【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

## 【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

<登録申請・レビュー要請案件（4桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当DOE]>

- ・登録承認：3件（日本事業者参加案件なし）
  - “Jilin Xijingou Hydropower Project”（2435）（中国/オランダ）[DNV]
  - “Zhangjiagang Nature Gas Power Generation Project”（2439）（中国/英国）[DNV]
  - “Zhejiang Wenling Donghaitang Wind Power Project”（2449）（中国/英国）[TÜV-SÜD]
- ・修正条件付登録承認：42件（日本事業者参加案件7件）
  - “Jiangsu Longyuan Donghai Biomass Power Project”（1892）（中国/オーストリア）[DNV]
  - “CECIC Zhangbei Gaojialiang Wind farm Project”（1895）（中国/英国）[BVC]
  - “Tal Dman Landfill Gas Capture Project in Aleppo”（2453）<sup>5</sup>（シリア/日本[清水建設]）[JQA]
  - “NISCO Converter Gas Recovery and Utilization for Power Generation Project”（2469）（中国/イタリア）[JQA]
  - “Reduction of Methane Emissions from Ruseifeh Landfill”（2487）（ヨルダン/フィンランド）[TÜV-SÜD]
  - “Bayi Steel CDQ (1#, 2#) and Waste Heat Utilization Project”（2506）（中国/英国）[TÜV-SÜD]
  - “El Panul – EcoMethane Landfill Gas Project”（2512）（チリ/英国）[DNV]
  - “Shanxi Changyuan 24MW waste heat recovery and utilization for electricity generation project”（2515）（中国/スウェーデン）[TÜV-NORD]
  - “Zibo Hongda Coking Co. Ltd. Coke Dry Quenching and Waste Heat Utilization for Power Generation Project”（2516）<sup>6</sup>（中国/日本[新日鉄]）[TÜV-SÜD]
  - “Wuxue Huaxin Cement 18MW Waste Heat Recovery as Power Project”（2521）（中国/ベルギー）[TÜV-SÜD]
  - “Dalian Maoyingzi Landfill Gas Recovery for Power Generation Project”（2523）（中国/オランダ）[TÜV-SÜD]
  - “The Bogeda 40.5 MW Wind-Farm Project in Urumqi, Xinjiang, China”（2537）<sup>7</sup>（中国/日本[東京電力]）[TÜV-SÜD]
  - “Gujarat Narmada Valley Fertilizer Company (GNFC) Nitrous Oxide Abatement Project”（2550）（インド）[SGS]
  - “Zhongliangshan Coal Mine Methane Project”（2558）（中国/英国）[TÜV-SÜD]
  - “Wastewater treatment with Anaerobic Digester at Truong Think starch processing plant in Tay Ninh, Vietnam”（2571）（ベトナム/日本[東芝]）<sup>8</sup>[JQA]

<sup>5</sup> 2453 「アレppo州タルダマン埋立処分場メタンガス回収プロジェクト」（日本政府承認：2008年7月18日（担当官庁：国土交通省））

<sup>6</sup> 2516 「Zibo 宏達コークス乾式消火設備と廃熱回収発電プロジェクト」（日本政府承認：2008年10月1日（担当官庁：経済産業省））

<sup>7</sup> 2537 「中国新疆ウルムチ市におけるボジェダ 40.5MW 風力発電プロジェクト」（日本政府承認：2008年4月14日（担当官庁：経済産業省））

<sup>8</sup> 2571 「ベトナム国タイニン省トゥルンティン澱粉工場における嫌気性ダイジェスタによる廃水処理」（日本政府承認：2008年11月5日（担当官庁：経済産業省））

- “Wastewater treatment with Anaerobic Digester at Viet Ma starch processing plant in Tay Ninh, Vietnam” (2572) (ベトナム/日本[東芝])<sup>9</sup>[JQA]
  - “Guizhou Kaiyang Zijiang Hydropower Station Project” (2574) (中国/オランダ) [TÜV-SÜD]
  - “CGN Inner Mongolia Zhurihe Phase I Wind Farm Project” (1577) (中国/英国) [DNV]
  - “Inner Mongolia Huitengliang Phase II Wind Power Project” (1815) (中国/英国) [BVC]
  - “Phuoc Hiep I sanitary Landfill gas CDM project in Ho Chi Minh City” (1913) (ベトナム) [DNV]
  - “Yunnan Yingjiang Wakuhe Hydropower Station” (2052) (中国/ドイツ) [TÜV-NORD]
  - “Henan Nanyang Zhenping Cement Waste Heat Recovery and Utilization for Power Generation Project” (2095) (中国/オランダ) [BVC]
  - “Huadian Kulun 201MW Wind Farm Project” (2100) (中国/スウェーデン) [DNV]
  - “Heilongjiang Yilan Hezuolingchang Phase II Wind Power Project” (2177) (中国/オランダ) [DNV]
  - “Guohua Hebei Huanghua 49.5 MW Wind Farm Project (Phase I)” (2125) (中国/英国) [DNV]
  - “V.P. Farms Pig Manure Methanisation, Methane Recovery and Energy Production Project” (2218) (タイ/オーストリア) [TÜV-SÜD]
  - “Heilongjiang Yilan Jiguanlazishan Wind Farm Project” (2360) (中国/英国) [BVC]
  - “Heilongjiang Dongning Dajiazishan and Xidagang Wind Farm Project” (2361) (中国/英国) [BVC]
  - “GHG emission reductions through waste gas based power generation at Visa Steel Limited” (2369) (インド) [SGS]
  - “Jiangsu Qishuyan Natural Gas Based Power Generation Project” (2382) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
  - “Jiangsu Wangting Natural Gas Based Power Generation Project” (2383) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
  - “Leak Reduction in Above Ground Gas Distribution Equipment in the KazTransgaz-Tbilisi Gas Distribution System- Tbilisi, Georgia” (2404) (グルジア/英国) [SGS]
  - “Santa Cruz I Hydroelectric Power Plant” (2405) (ペルー/スペイン) [DNV]
  - “Xinjiang Huadian Xiaocaoahu the 2nd phase of No.1 Wind Farm project” (2413) (中国/スウェーデン) [DNV]
  - “Hubei Yihua Fertilizers Company Waste Heat Recovery and Utilization Project” (2416) (中国/オランダ) [TÜV-SÜD]
  - “Tianfu Coalmine Methane Project” (2418) (中国/英国) [DNV]
  - “Inner Mongolia Keshiketeng County Wutaohai South Wind Farm 49.5 MW Project” (2420)<sup>10</sup> (中国/日本[NEDO]) [JQA]
  - “El Platanal Hydropower Plant” (2426) (ペルー) [DNV]
  - “Jiangxi Gongge 15MW Hydropower Project, China” (2433)<sup>11</sup> (中国/日本[NEDO]) [TECO]
  - “Skopje Cogeneration Project” (2437) (マケドニア/オランダ) [SGS]
  - “Shanxi Wulushan 1st phase Wind Power Project” (2441) (中国/英国) [DNV]
  - “Xilinguole Huitengliang Wind Power Project Guotai Phase I” (2450) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
- ・レビュー実施決定：15件（日本事業者参加案件2件）
- “Nanchang Maiyuan Landfill Gas Recovery and Utilisation Project” (1745) (中国/オランダ) [DNV]

<sup>9</sup> 2572 「ベトナム国タイニン省ビートマ澱粉工場における嫌気性ダイジェスタによる廃水処理」（日本政府承認：2008年11月5日（担当官庁：経済産業省））

<sup>10</sup> 2420 「内蒙古自治区克什克騰旗烏套海南風力発電49.5MWプロジェクト」（日本政府承認：2008年4月25日（担当官庁：経済産業省・環境省））

<sup>11</sup> 2155 「中国江西省功閣15MW水力発電プロジェクト」（日本政府承認：2008年12月9日（担当官庁：経済産業省・環境省））

- “Heilongjiang Huanan Hengdaishan East (II) Wind Power Project” (2124) (中国/スイス) [DNV]
  - “Waste Gas based Power Generation Project at Ankit Metal & Power Limited” (2127) (インド) [DNV]
  - “Heilongjiang Wuerguli Wind Power Project” (2152) (中国/オランダ) [BVC]
  - “Inner Mongolia Meiyaoshan Wind Farm Project” (2381) (中国/英国) [BVC]
  - “Inno-Kwants Mewah-Palm Oil Mill Waste Recycle Scheme, Malaysia” (2427) (マレーシア/英国) [SGS]
  - “Pure-low Temperature Waste Heat Recovery for Power Generation (2x7MW) in Guangdong Tapai Cement Co.,Ltd.” (2445)<sup>12</sup> (中国/日本[三菱UFJ証券]) [JQA]
  - “BFG-fired Power Generation Project in Baosteel Co Ltd., Shanghai, P. R. China” (2461) (中国/英国) [DNV]
  - “Sintex 7.5 MW Natural gas based package cogeneration project, Gujarat – India” (2471) (インド) [DNV]
  - “Utilization of waste gas heat for power generation” (2504) (インド) [TÜV-NORD]
  - “Waste Heat Recovery based Captive Power Project of Adhunik Metaliks Limited” (2507) (インド) [SGS]
  - “Hebei Wasted Gas based Captive Power Plant Project in Longgang Group” (2508)<sup>13</sup> (中国/日本 [PEAR カーボンオフセットイニシアティブ]) [TÜV-SÜD]
  - “The Waste Heat Recovery Based Coke Dry Quenching Power Generation Project of Xingang Company” (2511) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
  - “Bhushan Power and Steel Limited – Waste Heat Recovery based Captive Power Project” (2519) (インド) [SGS]
  - “Shandong Laizhou phase I Wind Power Project” (2530) (中国/英国) [BVC]
- ・登録不承認：6件（日本事業者参加案件3件）
- “73 MW Tonghua Iron & Steel Waste Gas and Heat Power Generation Project” (2304)<sup>14</sup> (中国/日本[NEDO]) [JCI]
  - “Sichuan Liangtan Hydropower Station Second Phase Project” (2410) (中国/スウェーデン) [BVC]
  - “Controlled combustion of municipal solid waste (MSW) and energy generation in Linyi City, Shandong, China” (2419) (中国/ポルトガル) [JQA]
  - “Electrotherm 30 MW combined waste heat recovery and coal based captive power plant at Kutch” (1903) (インド/英国) [SGS]
  - “Yixing Shuanlong Cement Plant’s Low Temperature Waste Heat Power Generation” (1914)<sup>15</sup> (中国/日本[丸紅]) [TÜV-SÜD]
  - “Jiangsu Jiaoqiao Cement Plant’s Low Temperature Waste Heat Power Generation Project” (1916)<sup>16</sup> (中国/日本[丸紅]) [TÜV-SÜD]

<sup>12</sup> 2445 「広東塔碑セメントにおける低温廃熱回収による発電事業（2x7MW）」（日本政府承認：2009年3月27日（担当官庁：国土交通省））

<sup>13</sup> 2508 「河北省龍海鋼鉄集団廃ガスプロジェクト」（日本政府承認：2008年12月11日（担当官庁：経済産業省））

<sup>14</sup> 2304 「73MW 通化鋼鉄排ガス・排熱利用発電プロジェクト」（日本政府承認：2009年2月27日（担当官庁：経済産業省・環境省））

<sup>15</sup> 1914 「宜興市双龍セメント廃熱回収プロジェクト」（日本政府承認：2008年1月22日（担当官庁：経済産業省））

<sup>16</sup> 1916 「江蘇省蛟橋セメント廃熱回収プロジェクト」（日本政府承認：2009年1月22日（担当官庁：

## 別添：【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

## 【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

<CER 発行要請・レビュー要請案件（4 桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当 DOE]>

- ・発行承認：1 件（日本事業者参加案件なし）
  - “6 MW Rice Husk based cogeneration plant at Bhageshwari Papers Private Limited”（1379）（インド）[SGS]
- ・修正条件付発行承認：10 件（日本事業者参加案件 2 件）
  - “La Esperanza Hydroelectric Project”（0009）（ホンジュラス/カナダ、オランダ、イタリア、デンマーク、フィンランド、オーストリア、ルクセンブルグ、ベルギー、スウェーデン、ドイツ、スイス、ノルウェー、スペイン、日本[出光興産、沖縄電力、新日本石油、大和証券 SMBC プリンシパル・インベストメンツ、富士フィルム]）[TÜV-NORD]
  - “Landfill Gas to Energy Project at Lara Landfill, Maua, Brazil”（0091）（ブラジル/スイス、オランダ）[SGS]
  - “Pronaca: Afortunados Swine Waste Management”（0459）（エクアドル/英国）[TÜV-SÜD]
  - “Pronaca: Tropicales-Plata Swine Waste Management”（0460）（エクアドル/英国）[TÜV-SÜD]
  - “Quimvale and Gas Natural Fuel Switch Project”（0828）（ブラジル/スペイン、英国）[TÜV-SÜD]
  - “Liaoning Changtu Wind Farm Project”（0883）（中国/英国）[SGS]
  - “EnviroServ Chloorkop Landfill Gas Recovery Project”（0925）（南アフリカ/日本[JCF]）[SGS]
  - “Qinghai Jinshaxia 70MW Hydropower Project”（1467）（中国/スイス、スウェーデン、オランダ）[DNV]
  - “Energy efficiency through steam optimisation projects at RIL, Hazira”（0261）（インド）[BVC]
  - “Tianji Group Line 2 N2O Abatement Project”（1437）（中国/スイス・英国）[DNV]
- ・レビュー実施決定：3 件（日本事業者参加案件 1 件）
  - “Rio Blanco Small Hydroelectric Project”（0028）（ホンジュラス/フィンランド）[TÜV-SÜD]
  - “El Molle – Landfill gas (LFG) capture project”（0170）（チリ/日本[東京電力]）[SGS]
  - “Mondi Richards Bay Biomass Project”（0966）（南アフリカ）[DNV]
- ・発行不承認：なし